

アプリケーションカタログ 石油製品の全酸価

関連業界	:	石油化学
使用装置	:	電位差自動滴定装置
測定手法	:	電位差滴定法/酸塩基滴定
関連規格	:	JIS K2501、ASTM D664

1. 概要

石油製品の全酸価の測定は上記規格に基づいて電位差滴定法により 0.1mol/L 水酸化カリウム 2-プロパノール溶液で滴定することで行い、滴定曲線上に得られた変曲点を終点とします（変曲点が得られなかった場合は各規格で規定された緩衝液の示す電位に達した点を終点とします）。水酸化カリウム 2-プロパノール溶液の終点までの滴定量から、石油製品の全酸価を算出します。

試料は、通常トルエン、2-プロパノール及び少量の水の混合溶媒に溶かします。この混合溶媒に溶ける石油製品中の酸性成分には、有機酸、無機酸、エステル、フェノール化合物、ラクトン、レジン、重金属塩、アンモニア塩及び他の弱酸成分、多塩基酸の酸塩などがあります。

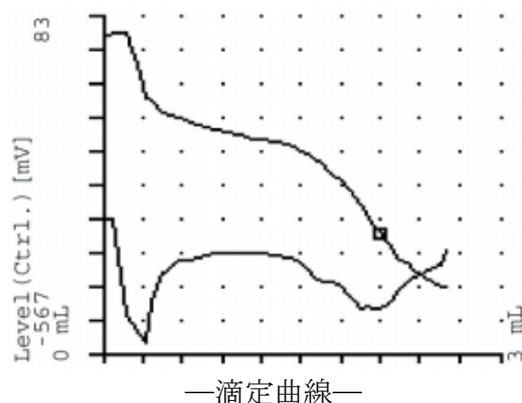
2. 装置構成

本体	:	電位差自動滴定装置（プリアンプリファイア: STD）
電極	:	非水滴定用複合ガラス電極

3. 試薬

滴定液	:	0.1mol/L 水酸化カリウム・2-プロパノール溶液
滴定溶媒	:	トルエン:2-プロパノール:純水=500:495:5(体積比)

4. 測定例



—測定結果—

	Sample (g)	Titer (mL)	Acid number (mgKOH/g)
1	19.9999	2.0805	0.527
2	20.0075	2.0909	0.529
平均			0.528
偏差			0.002
許容差 (JIS)			0.032
許容差 (ASTM)			0.067

詳細は、下記までお気軽にお問い合わせください。

<問い合わせ先> 京都電子工業株式会社

<http://www.kyoto-kem.com/ja/contact/form.php>